



猪苗代湖ボーリングコア試料(INW2012)

2012年9月6日～11月8日に掘削されたボーリングコア試料78本である。猪苗代湖湖心部の水深約90mの地点において掘削されたもので、掘削長は約28mであった。試料は、1本の長さが1mのステンレス製のサンプラーから押し出し、半割して断面の岩相記載と分析用試料の採取を行った後、残りの約半分が抜気した状態で保存されている。猪苗代湖の成立から現在まで、約4万2千年間の環境変化の情報を記録した堆積物試料である。

資料点数 78点

保管場所 共生システム理工学研究科 (プロジェクト室 506)

参考文献 廣瀬孝太郎・長橋良隆・中澤なおみ (2014) 福島県猪苗代湖の湖底堆積物コア (INW2012) の岩相層序と年代. 第四紀研究, 日本第四紀学会, 53 (3) :157-173.

執筆・*廣瀬 孝太郎 (共生システム理工学研究科)
*現所属: 神戸大学自然科学系先端融合研究環
内海域環境教育研究センター